

## 肺癌コンパニオン診断用遺伝子パネルの開発

### 1. 研究の対象

当院で肺がんの手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

進行性肺がんの治療法選択のために EGFR, ALK, ROS1, RET, BRAF, MET, KRAS, HER2, NTRK1-3, NRG1 各遺伝子に異常があるかどうかを調べます。遺伝子の検査は現在別々の検査でおこなわれていますが、これを一括して行うことができる遺伝子パネル検査を開発します。研究期間は 2023 年 3 月 31 日まで。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：肺がん組織

情報：肺がん組織の遺伝子異常の情報

### 4. 外部への試料・情報の提供

当センターで検査後に保存している肺がん組織（病理標本）の一部を奈良先端科学技術大学院大学へ供与します。データの提供については、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

大阪国際がんセンター 研究所 ゲノム病理ユニット 久木田洋児

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 加藤菊也

株式会社 DNA チップ研究所

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 本間圭一郎

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 研究所 ゲノム病理ユニット 久木田洋児

研究代表者：

大阪国際がんセンター 研究所 ゲノム病理ユニット 久木田洋児